

実態に沿った道路整備を

状況を把握して要望する

問 待望の桜山トンネルが開通する。新たに信号機の設置を必要とする場所があるのでは。

佐藤町長 第7分団屯所付近の交差点への設置を要望している。

問 浦の浜の高台道路にある丁字路のポールは改善されることになったが、ほかの整備された道も実態に沿って改善すべきでは。

昆建設課長 やまだ斎苑前の交差点への信号機設置は、建設時に要望した

経緯はある。また、27年度から織笠大橋たもとの町道織笠南側線など町内4カ所への設置を要望している。状況を把握しながら要望はしていく。

問 各地区の高台住宅地は新しい道路ができて利便性の向上を実感できるが、道案内の標識が少なく道に迷う人が見受けられる。早急に対応を。

町長 道路が分かりにくい箇所については、案内看板や標識等の対応を検討していく。

問 新しく住宅が建設され、舗装と未舗装道路が交わる場所が見受けられる。私道整備補助の制度

を住民が使いやすく改善し道路整備を進めては。
町長 補助率を上げ、工事費に対する負担を軽減することで、一定の効果はあるものと考えている。

水揚げ不振への対策は

新たな施策を検討する

問 当地区は、近年例を見ないような不漁に見舞われている。収入減により水産人口の他業種への流出が懸念されるが、見

研究を国、県に要望していく。

解は。
問 不漁に左右されない漁家の収入安定を図る施策は。

町長 磯根資源の回復やカキ、ホタテの品質向上に取り組んでいくほか、新たな養殖種目の導入について漁協と検討を進めていきたい。

町長 基幹産業である水産業に大きな影響を及ぼしかねないと認識しており、主要魚種の秋サケ回帰率向上に向けた調査・

観光の目玉を

体験観光の充実を図る

問 現状では町内の景勝地の多くは船上から見るしかない。定期船がない限り集客は見込めない。

要だと考える。
武藤水産商工課長 コー

オランダ島に浮き桟橋を架けるくらいの観光の目玉となる施策はないのか。ある程度の投資は必

ディネーターを交え、オランダ島での体験型観光プログラムの開発を進めている。桟橋については意見として受け止める。



山崎泰昌 議員
(政和会)



信号機の設置で快適な交通環境を